



日本シティズンシップ教育フォーラム (J-CEF)

シティズンシップ教育研究大会 2021

第一次案内

このたび、10月3日(日)に、「研究」に力点を置いた交流と研究発展に向けた場として、「シティズンシップ教育研究大会 2021」を開催する運びとなりました。

「シティズンシップ教育研究大会」は、「シティズンシップ教育」をキーワードに、多様なディシプリン垣根を越えた知見交流を通じて、これまでの自らの研究のあり方を振り返り、今後のシティズンシップ教育研究のありようを共に考えるプラットフォームとして、2019年度から開催してまいりました。第1回・第2回の研究大会では、政治学・社会学・教育学・心理学・哲学・教育史など多様なバックグラウンドの研究者はもちろんのこと、現職教員や大学院生の参加もありました。

今年度も、第1回・第2回の研究大会に引き続き、多様な研究者を繋ぐ場となればと考えています。また、今年度は昨年度に引き続き、オンライン開催となっています。参加者の皆さまの安全を第一に考えてこうした形態をとることに致しましたが、昨年同様にオンラインであることのメリットを生かし、地理的に離れた場所にある方々を繋ぐ契機になればと考えています。自由研究発表の発表者の皆さまには、発表申し込みの際に、自分の研究が該当する「キーワード」を選択して頂きます。大会実行委員会としては、これらのキーワードの情報をもとに、発表者同士が研究の多様性を感じながら、同時に共通する問題意識の接点を生み出せるように、分科会を編成していく予定です。

また、今回のシンポジウムのテーマは、「『複数性』から問うシティズンシップ教育—日本における実践課題を考える—」としました。日本の研究者の想定するシティズンシップ教育の市民像が、マジョリティの文化や価値観を前提としたものになる懸念は絶えず存在しています。日本の実践や研究に無自覚のうちに埋め込まれてきた様々な前提を顕在化させ、問い直しながら、「複数性」を見出ししていく必要があります。そのような問題意識からのテーマ設定となっています。

この分野の研究に長く取り組まれてきた方々のみならず、大学院生や学部生の方を含む若手の方や、新たに関心を持たれた方にも是非積極的にご越しいただき、シティズンシップ教育研究をともに切り拓いていくプラットフォームとなれば幸いです。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

1. 概要

- 日時：2021年10月3日(日) 10時～17時 (任意参加のアフタートークは18時まで)
- 会場：オンライン開催 (参加者の方々に zoom ミーティングルームの URL を共有します)
- 対象：シティズンシップ教育研究に関心をもつ方々なら、誰も参加できます。

若手研究者・院生・学部生の参加を歓迎いたします。

■主催：日本シティズンシップ教育フォーラム（J-CEF）

2. 全体スケジュール

時間	内容
10:00～12:00	シンポジウム 「『複数性』から問うシティズンシップ教育—日本における実践課題を考える—」
13:15～14:45	自由研究発表セッション①（分科会ごとでの実施）
15:30～17:00	自由研究発表セッション②（分科会ごとでの実施）
17:00～18:00	アフタートーク（任意参加）

3. 参加費

無料（会員・非会員共通）

4. 大会企画

今回の研究大会では、二種類のセッションで企画を構成します。

(1)シンポジウム

参加者が一同に会し、共にシティズンシップ教育研究について考えます。

(2)自由研究発表セッション

発表者の研究成果について口頭で発表し、参加者と質疑応答やディスカッションを行います。

▶この度、自由研究発表セッションの発表者を募集いたします。

(1)シンポジウム

■テーマ：「複数性」から問うシティズンシップ教育 —日本における実践課題を考える—

■趣旨

「複数性」と聞いて何が思い浮かぶだろうか。アーレントによれば、「複数性」とは「全ての政治生活の必要条件であるばかりか、最大の条件」である。これは、異なる人々の存在、すなわち人間の複数性という当たり前の事実を振りどころとすることの重要性を指し示している。またそれは、自身の行為と意見がだれかによって受け止められ応答されるという関係性の中に、デモクラシーの源泉があることを含意している。

ところが、社会はおしなべて特定のマジョリティの価値観や文化を前提として構築されている。学校教育もまた例外ではなく、マジョリティの価値観や世界観をもとにした「公的に学ばれるべき知識」（official knowledge）や「隠れたカリキュラム」を通じた知識の伝達と規範形成の機能を果たしてきた。このような知識や規範は「普通」であり「中立的」なものと捉えられた上で国民形成に用いられてきた。

こうした特定の価値観や知識、世界観を共有した「われわれ」というマジョリティ性を問うことにより、シティズンシップ教育実践における「複数性」が浮かび上がってこないだろうか。本シンポジウムでは、民主的で公正な社会をめざす教育のあり方に取り組んできた3名の研究者を招き、日本におけるシティズンシップ教育実践の課題と可能性を考えたい。

■キーワード：複数性、社会正義、ジェンダー、かくれたカリキュラム、マジョリティ性、人権、ケアの倫理、文化の重層性

■パネリスト（五十音順）：

孫美幸さん（文教大学）

寺町晋哉さん（宮崎公立大学）

陳思聡さん（九州大学）

■コーディネーター：北山夕華さん（大阪大学）、橋崎頼子さん（奈良教育大学）

(2)自由研究発表セッション

自由研究発表は分科会（発表20分、質疑応答10分）の開催を予定しています。

発表者の皆さまは、発表申し込みの際に、ご自身の発表内容が関連しうる「キーワード」をお選びください。キーワードは最大3点まで選べます。発表者の皆さまから頂いた情報は、分科会の編成の際に、参考にさせていただきます。

【キーワード：最大3点まで選択可（選択必須）】	
1. アート／文化	16. 地域連携／外部連携／NPO
2. SDGs／ESD	17. 思想・哲学
3. エンパワメント	18. 教育史（歴史）
4. 教育の効果・評価	19. 教育政策
5. ことばの教育	20. 教育方法／カリキュラム（教育課程）
6. 子ども・若者の参加	21. 教科教育
7. 子ども・若者の実態	22. 教師教育
8. 社会運動	23. 高等教育
9. 社会正義	24. 社会教育・生涯学習
10. 人権	25. 政治教育／主権者教育
11. 人種／民族	26. 道徳教育
12. 多様性	27. 平和教育・紛争問題解決
13. デジタルシティズンシップ	28. 比較教育・国際教育
14. 排除と包摂	29. 歴史教育
15. ボランティア／サービ斯拉ーニング	30. その他

* 研究大会としての性質に鑑みて、次のような発表を想定しています。

- ①研究成果を発表し、フィードバックを得る（通常の学会発表と同様）
- ②構想段階や計画段階にある研究に関して発表を行ってブラッシュアップする
- ③他の学会等で既に発表したものを再び発表し、異なる観点からのフィードバックを得る

（卒論のプレ発表／修論のプレ発表、および学会発表未経験者の発表でもよい）

(3)アフタートークについて

17時～18時には任意参加のアフタートークを実施します。アフタートークでは、テーマ別に話題共有できる複数の部屋を用意します。設定する部屋の数・内容に関しては、参加申し込みの際に、参加申込者からアイデアをご記入（任意）していただき、記入状況を考慮に入れて、実行委員が最終決定する予定です。

5. 今後の日程

- ・自由研究発表 申込・要旨提出締切 2021年8月31日（火）
- ・第2次案内（プログラム）公開 2021年9月上旬頃
- ・参加申込締切 2021年9月30日（木）

6. 参加申込

2021年9月30日（木）までに、日本シティズンシップ教育フォーラム（J-CEF）ウェブサイト（<http://jcef.jp>）の案内に従って、オンラインでお申し込みください。なお、申込ページへの直接のリンク先は右のQRコードからアクセスしてください。



- * 自由発表セッションでの発表を希望される方は、8月31日（火）までにお申し込みください。
- * 申込期間終了後の参加申込みにつきましては、事務局までお問合せください。

7. 自由研究発表セッション要旨提出

本大会では、各発表の要旨をJ-CEFウェブサイト（<http://jcef.jp/>）に事前に公開予定です（紙媒体での配布は予定しておりません。ご了承ください）。つきましては、自由研究発表セッションで発表される方は、以下の要領で要旨の作成および提出をお願いいたします。

(1)要旨の作成

- ・Wordファイルでの作成をお願いします。
- ・分量は、A4用紙1枚程度とします（最大2枚）。
- ・余白は上下左右25mm、文字数40、行数40でページ設定をお願いします。

・タイトル・サブタイトルおよび氏名・所属を冒頭 5 行に書いていただき、本文は 6 行目から始めてください。

・フォントサイズ等は、以下の通りお願いします。

①発表題目（主題・副題ともに） 中央揃え MS ゴシック、太字 12pt

②発表者名（所属） 右揃え MS 明朝 12pt

③本文・見出し MS 明朝体 12pt

※サンプル（本紙最終ページに掲載）と昨年度の発表要旨集録を右の QR コードから参照してください。



(2)要旨の提出

2021 年 8 月 31 日（火）までに、info@jcef.jp（担当：川中）までお送りください。

8. 「シティズンシップ教育研究大会 2021」実行委員 （五十音順）

唐木清志（筑波大学人間系教授）

川口広美（広島大学人間社会学研究科准教授）

川中大輔（龍谷大学社会学部准教授）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）

斉藤仁一朗（東海大学課程資格教育センター講師）

橋崎頼子（奈良教育大学教育学部准教授）

古田雄一（大阪国際大学短期大学部准教授）

古野香織（認定 NPO 法人カタリバ）

9. 「シティズンシップ教育研究大会 2021」シンポジウム実行委員 （五十音順）

北山夕華（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）

橋崎頼子（奈良教育大学教育学部准教授）

10. お問い合わせ先

日本シティズンシップ教育フォーラム事務局

E-mail：info@jcef.jp（担当：川中）

以上

余白は上下
ともに
25 ミリ

【文字数・行数の設定について】
文字数 40、行数 40 でページ設定をお願いします。

余白は左右
ともに
25 ミリ

タイトル (中央揃え MS ゴシック、太字 12pt)
——サブタイトル (中央揃え MS ゴシック、太字 12pt) ——

発表者氏名 (括弧内に所属) (いずれも右揃え MS 明朝 12pt)

本文・見出し (6 行目から : MS 明朝、12pt)

※分量は、A4 用紙 1 枚程度とします (最大 2 枚)。

※Word ファイルでの作成をお願いします。